

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和08年06月12日(金)

事務事業		ボートピア岡部周辺環境対策事務		担当課	企画課	担当係	企画係	管理番号	3181	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等	地方自治法第241条、深谷市場外舟券売場環境整備基金条例					
	小項目	4	行財政運営の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		場外舟券売場におけるモーターボートレースの売上金に関し、競艇施行者から市に環境整備協力費が交付されている。この環境整備協力費を有効活用するため、深谷市場外舟券売場環境整備基金を設置し令和6年度まで積み立てを行っていたが、令和7年度以降は利子分のみ積み立てを行っている。また、その年度に交付された環境整備協力費及び利子分の積立金については、基金条例の処分事項に沿った当該年度の事業に充当している。なお、環境整備協力費の交付金は、競艇施行者との協議で決定した交付率により、自場レースでは売上金額の1.5%、場間場外レースでは売上金額の1.0%となっている。								
目的 ※何のために		ボートピア岡部の周辺環境対策のため。								
対象 ※誰・何を対象に		競艇施行者から交付される環境整備協力費・ボートピア岡部周辺環境対策協議会								
手段 ※どのように		深谷市場外舟券売場環境整備基金への積み立てや一般会計への繰入を行う。・周辺環境対策協議会での協議の場を設ける。・環境整備協力費および利子の充当を行う。								
成果 ※何を求めるか		ボートピア岡部周辺の環境整備の推進、教育の充実、地域福祉事業の充実を目指す。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	7	企画費	場外舟券売場環境整備基金積立金	212,900
本事業の 主な業務		・ボートピア周辺環境対策協議会対応							・	
		・ボートピア周辺環境対策(苦情処理)							・	
		・環境整備協力費財務処理							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

※令和7年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画		ボートピア周辺環境対策協議会対応ボートピア周辺環境対策（苦情処理、環境整備協力費財務処理）	ボートピア周辺環境対策協議会対応ボートピア周辺環境対策（苦情処理、環境整備協力費財務処理）	ボートピア周辺環境対策協議会対応ボートピア周辺環境対策（苦情処理、環境整備協力費財務処理）	ボートピア周辺環境対策協議会対応ボートピア周辺環境対策（苦情処理、環境整備協力費財務処理）	ボートピア周辺環境対策協議会対応ボートピア周辺環境対策（苦情処理、環境整備協力費財務処理）		
事業費	予算（現額）	130,200,000	130,200,000	124,400,000	213,000	200,000		
	決算額	116,142,403	106,214,885	96,830,438	212,900	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	116,142,403	0	0	0	200,000	
一般財源	0	106,214,885	96,830,438	212,900	0			
人件費	従事職員数（人）	0.30	0.38	0.28	0.28	0.20		
	人件費相当試算※	2,360,868	3,043,863	2,302,228	2,373,587	1,761,698		
総事業費試算		118,503,271	109,258,748	99,132,666	2,586,487	1,961,698		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	深谷市場外舟券売場環境整備基金への当該年度積立額	目標値	百万円	150.60	150.60	150.60	150.60	150.60	150.60	
		実績値	116.14	106.21	96.83	103.69				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各年度の見込額を目標値とする / 目標＝見込額／実績値＝決算（Ｒ７以降は協力費受入額及び利子額）							
	実績値の算出式									
成果指標 1	環境整備基金繰入割合（一般会計への繰入金）	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		実績値	100.00	100.00	100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市場外舟券売場環境整備基金へ積立てる額に対する一般会計繰入額の割合（Ｒ７以降は一般会計への充当割合）							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

(1) 事業達成度評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	ネット購入割合の増加により場外舟券売場の売上は減少傾向にある。これにともなう、市に交付される環境整備協力費が減少し目標を下回ったため、B評価とした。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	深谷市場外舟券売場環境整備基金の一般会計への繰り入れを行い、適切に充当事業への活用が図れたことからA評価とする。
			評価者 企画係長 高田 優

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	毎月定例的に処理している環境整備協力費の請求に係る事務について、令和7年度より電子起案に完全移行した。また、RPAの導入等により効率的に処理することができた。今後はさらに効率的な処理が図れるよう、帳票やRPA処理の改善を検討していく。
			評価者 企画係長 高田 優